

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	2年次・通年・A群
	対象学科・専攻	電子制御工学科
情報処理 (Information Processing )	担当教員	前期：福添 孝明 (Fukuzoe, Takaaki) 後期：植村 眞一郎 (Uemura, Shinichiro)
	教員室	電子制御工学科棟3階 (Tel. 42-9086) 電子制御工学科棟3階 (Tel. 42-9088)
	E-Mail	fukuzoe@kagoshima-ct.ac.jp uemura@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2単位	
週あたりの学習時間と回数	授業 (100分) × 30回	
〔本科目の目標〕 プログラミング用のC言語を用い「プログラムとは何か」、「プログラム言語にはどのような機能があるか」、「現実の問題を計算機によってどのように解決するか」を習得させる。		
〔本科目の位置付け〕 IT技術が発展している現在、技術者に要求されるプログラミング技法について学習する。更に高学年になるにつれて、機械機器等を制御する手段としてのプログラミング言語として活用される。		
〔学習上の留意点〕 初学者にとってプログラミング能力の向上は、数多くの例題を実際に入力し実行してみることが最良の方法である。空いた時間と計算機をおおいに活用し、コンピュータという強力な問題解決のツールを身につけて、学習の幅と深さを広げるべく訓練すること。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1.C言語とは	2	プログラミングの概念を理解することが出来る。 C言語の特徴を理解することが出来る。
2.変数	6	コンピュータと進法の関係について理解できる。 変数や定数を利用することが出来る。
3.演算子	6	演算子を用いたプログラムを作成することが出来る。
--- 前期中間試験 ---	2	授業項目1～3について達成度を確認する。
4.制御文	14	条件式の書き方を理解することが出来る。 条件式を用いて実行順序を制御することが出来る。
--- 前期期末試験 ---		授業項目1～4について達成度を確認する。
5.配列と文字列	16	配列を用いて数値や文字などのデータ処理が出来る。
--- 後期中間試験 ---	2	授業項目1～5について達成度を確認する。
6.ポインタ	12	ポインタを理解することが出来る。さらに、ポインタを使ったデータ処理が出来る。
--- 後期期末試験 ---		授業項目1～6について達成度を確認する。
試験答案の返却・解説		各試験において間違った部分を理解できる。
〔教科書〕世界一わかりやすいCプログラミングの授業 Lepton ソシム		
〔参考書・補助教材〕授業時配布プリント (演習問題)		
〔成績評価の基準〕中間試験および期末試験成績(50%) + 小テスト・レポート(50%) - 授業態度		
〔本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連〕 3-b, 3-c		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕		
〔JABEEとの関連〕		